

令和4年11月10日発行

校舎とバイク置場

(写真…十日町高校松之山分校生徒会)

CONTENTS

No.75

令和3年度決算審査	2-3P
一般質問	4-9P
議会をPick-Up!	10P
議案の審議結果	11P
政務活動費による活動	12P
議会レポート	13-14P

決算審査特別委員会審査報告

9月定例会初日に上程された、令和3年度一般会計、特別会計および企業会計の歳入歳出決算（合計10議案）は決算審査特別委員会に付託され、さらに3つの分科会で慎重に審査を行いました。

審査結果は、10件とも決算認定です。定例会最終日の本会議において、決算審査特別委員長から審査結果とともに報告のあった主な意見、要望項目を掲載します。

◆ 一般会計



決算審査特別委員長
村山 達也 議員

歳入全般 2年半超に及ぶコロナ禍で疲弊しきつた地域経済は、

現下の物価高騰・円安によりさらに深刻な打撃を受けている現状にあり、今後も、一般財源の減少が見込まれる状況にあることから、事業計画の十分な検討に加え、当市の持つ歴史・伝統文化・豊かな自然・地元産品等の魅力を広く伝え、「とおかまち応援寄附金」や「企業版ふるさと納税」の増収に向けた取り組み強化を望むとともに、当地域の実情に応じた臨時交付金の活用を図り、持続可能な財政運営に取り組まれることを望みます。

総務費 広報広聴費について、

現在、市ホームページと連携し、「LINE」による情報が配信されていますが、感染情報や、災害情報などの注意喚起情報が多いことから、桜情報や、四季



第1分科会

折々の景色など、遠く離れている方でも十日町市を身近に感じられるような発信内容の検討を望みます。

民生費 灯油高騰や物価高騰の

状況に応じて、生活困窮者への適切な支援に感謝します。今後も生活困窮者への配慮と、生活状況に合わせた必要な支援を望みます。

幼稚園、保育園の改修が一区切りつき、子育て環境の整備が図られましたが、未来を担う子どもたちが日中過ごす保育施設の整備は大切です。今後も施設の安全管理に努め、現場の声に耳を傾けていただくとともに、

段階的な未満児の保育料無償化の検討をしていただき、より一層の子育て支援を望みます。



第2分科会

農林水産業費 かぼちゃやネギ

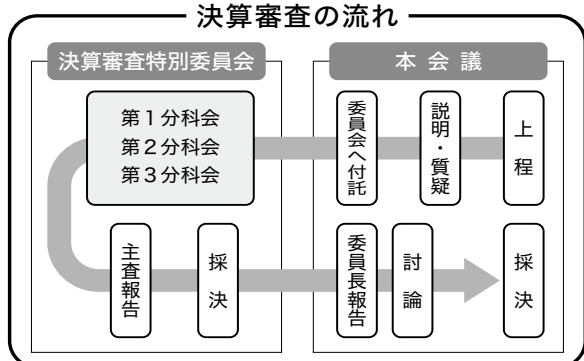
等の園芸作物のブランドディングと、魚沼産コシヒカリを含めた市内農産物の販路拡大支援への取り組みをさらに望みます。

土木費 道路除雪費について、

高齢化や生活様式も多様化してきていることから、特に利用時間など流雪溝の効率的な運用について将来を見据えた中での調整をお願いします。

市道除雪や認定外道路除雪については、中山間地高齢化集落

決算審査の流れ



決算審査特別委員会って？

決算審査特別委員会は、鈴木一郎議長と遠田延雄監査委員（議会選出）の2人を除いた22人で構成されます。22人は第1、第2、第3分科会に分かれ、いずれかの分科会に属して審査します。委員長は選挙で選ばれます。



第3分科会

の実態に即した対応により、冬期間の安心した暮らしの確保に向けた取り組みを望みます。

教育費 GIGAスクール推進整備事業について、委員会で行った視察の際に、子供たちがタブレットを使う様子を見て、多方面での活用が期待される物であると確認することができました。運用面で付属機器が必要との要望もあり、より効果的な運用を可能とするための予算の充実に望みます。

◆介護保険特別会計

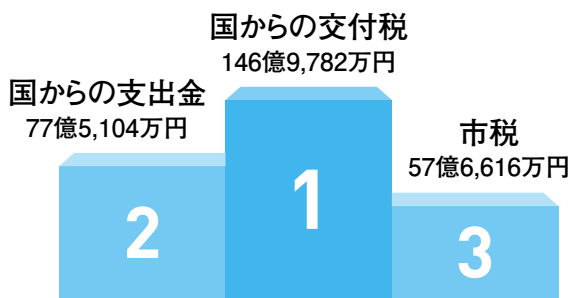
少しでも介護を遠ざけるための介護予防を徹底していただきたい。さらに、介護に対する理解と人材確保のため、介護従事者への接遇改善やボランティア育成の充実を望みます。また、大人が担うべき家族の介護等を若者が引き受けなければならぬ若い世代への支援策も望みます。

◆水道、簡易水道及び下水道事業会計

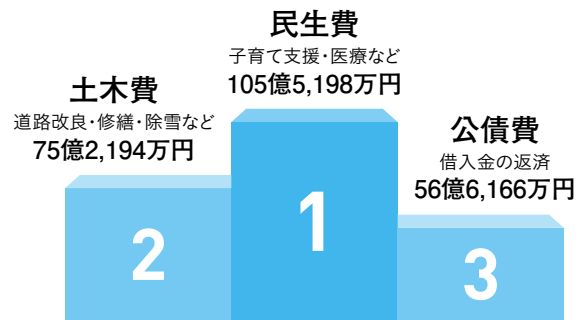
令和4年度の値上げを契機に、より一層効率的な事業運営に努め、積極的な施設の統廃合も検討しながら、老朽化した施設・機器の更新を計画的に進めていただきたい。



歳入 入ったお金トップ3は？



歳出 使ったお金トップ3は？



【詳細は「市報とおかまち」に】
令和3年度決算の詳細は「市報とおかまち10月10号」に掲載されていますので併せてご参照ください。



一般会計決算額

歳入総額	428億8,965万円
歳出総額	414億5,102万円
翌年度に繰り越すべき財源	1億3,440万円
実質収支額	13億 423万円

討 論



詳細は、9月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



「決算の認定に賛成か、反対か」
採決の前に討論が行われました。

反対 財政転換で暮らしを守る

大型公共事業にかけてきた財政の使い方を、福祉介護、医療等へ転換を。大地の芸術祭推進費は元年から4年までで25億円。財源縮減と市民主体の芸術祭へ。

(富井春美議員)

賛成 決算認定賛成意見

ポストコロナの時代に向けて市民にとって本場に必要なのは何か。ということを探求しつつ新たな挑戦をしてきたと感じており、時宜を得た対策を評価します。

(福岡哲也議員)

反対 令和3年度一般会計反対

①「大地の芸術祭」への支出を抑制する必要性②基幹産業となるための農業支援拡大を！③少子化を基盤とする諸問題解決のために、まずは教育費増額を！

(滝沢貞親議員)

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	養育費・面会交流について、おむつ持ち帰り問題について	4
関口立之	移住推進事業の現状について	5
山口康司	新型コロナウイルス感染症対策についてと十日町市の防災について	5
富井春美	福祉施設等へ手厚い対応を・県立松代病院について	6
滝沢貞親	指定管理施設持続化事業・UPZ事前了解権締結について	6
小嶋武夫	1億円産地化は農業を基幹産業にできるのか？	7

質問議員	質問事項	ページ
滝沢繁	農家の経営危機の認識と子どもたちの就学選択肢について	7
吉村重敏	日本遺産更新保留の原因を質し、縄文の謎解明などを提案	8
嶋村真友子	除雪要員の確保とコロナ感染の情報共有について	8
鈴木和雄	第二次学区再編・少子化を活かす学校作りと地域活性化を	9
山家悠平	小学校の統廃合や子どもの学力、外国人の移住等について	9



養育費・面会交流について、おむつ持ち帰り問題について

星名大輔 議員

質問 ①養育費の受給状況、面会交流の実施状況 ②養育費の確保策及び面会交流の支援策の現状と今後

答弁 ①養育費の受給状況は、令和4年3月31日現在における死別によるひとり親世帯、障がい者世帯を除く児童扶養手当受給者数は406人で、このうち現況届等により養育費を受けていることが分かっている人数は113人となっています。養育費の平均額は、子ども1人当たりに換算すると年額27万1千円です。なお、面会交流の実施状況については把握していません。②離婚届の用紙を事前に取りに来られた方には、養育費や面会交流に関するパンフレット等をご夫婦で共有いただけるよう、離婚届と一緒に2部お渡しします。離婚届の受付時には、基本事項の確認に加え、面会交流及び養育費の取り決め状況についてのチェック欄を確認し、まだ決めていないと回答した方には、あらかじめ取り決めておくことの重要性和、必要に応じて法的な相談窓口である市の無料法律相談についてお伝えしています。今後については、これら相談内容



子育て支援の充実を！

は非常に専門性が高いことから、引き続き法律相談などの相談窓口を丁寧にご案内していきます。

質問 ①使用済み紙おむつを保護者が持ち帰っている園 ②使用済み紙おむつの園廃棄が進むよう検討する考え

答弁 ①市内22の保育施設のうち、公立の4園を含む10施設です。②感染予防対策、保護者や保育士等職員の負担軽減の観点から、現在関係所属において検討しています。使用済み紙おむつの保育施設での一時的な保管方法や廃棄物の受入れ態勢などの課題があることから、公立保育園における園廃棄の実施及び私立保育施設の園廃棄への支援策等について引き続き検討していきます。





移住推進事業の現状について

関口立之 議員



質問 十日町市の移住推進事業として、今年度「移住支援窓口設置事業」「移住支援窓口強化事業」が予算化されました。①この事業の目的と内容②この事業の実績と、昨年度に実施した「雪国居住空間コンテスト」の結果について伺います。また、③移住推進事業について国や県との連携策や、移住者の仕事について支援策はありますか。

答弁 ①移住者のさらなる増加を図るため、相談窓口を民間事業者者に委託し、十日町市移住コンシェルジュとして体制を整備しました。業務内容は、移住検討者に対する支援制度の紹介、仕事や住まい、子育て環境などの総合的な情報提供、移住後の生活相談などのサポート、全国的な移住メディアを活用した情報発信を行っています。②昨年度、市役所内で受け付けた移住に関する相談件数は277件、今年度8月末時点で291件の問い合わせがありました。また、相談後すでに移住された方が2組2人、9月中に移住予定の方が3組7人との報告も受けています。コンテストは子育て世帯向けの住宅部門で33点、暮らし体験施設部門で25点の応募があり、部門ごとに最優秀賞を1件、優秀賞を2件ずつ選びまし



Snow Rich tokamach! 第1回 雪国居住空間コンテスト
子育て世帯向け住宅部門 最優秀賞
「子供と楽しむ雪国の家/平野永子 (HRNアーキテクツ)」

た。③国や県との連携策として、国からの交付金を活用し、移住体験プログラムの実施、Uターン情報誌の発行、地域自治組織向けのUターン補助金、市出身学生応援ふるさと便事業など県内トップレベルの支援策を行っています。また、県単事業を活用し、空き家バンク物件の現地調査の実施や、県主催の首都圏での移住相談会に参加しています。移住者の仕事については公共職業安定所での職業紹介のほか、新規創業の支援を積極的に行っています。



新型コロナウイルス感染症対策について と十日町市の防災について

山口康司 議員



質問 ワクチン接種も進み、状況が良くなってきたと思っていたが、第7波が押し寄せ連日多くの感染者が出ている。未だ終息が見通せず、感染した多くの市民の方への対応、ケア等対策を取っていただいたか。

答弁 県や保健所が実施している業務を補完する形で相談窓口を開設し、外出自粛となった世帯を対象に食料品などの宅配支援を行いました。今後も県や関係機関と連携し、基本的な感染対策、3密回避、ワクチン接種、誹謗中傷を行わないなど、市民一人一人が意識を持って取り組んでもらえるよう、行政防災無線やあんしんメール等を活用しながら周知していきます。

質問 地球温暖化といわれ大きな災害が各国で起き、日本各地でも豪雨による大水害が発生しています。この異常気象による当市の水害、土砂崩れ等災害対策にどのように対応するのか。

答弁 情報伝達体制の整備として、行政施設や職員間の迅速な情報伝達のために移動系防災行政無線システムを導入しています。また、市民に防災行政情報を瞬時に届けられるよう同報系防災行政無線を整備し、令和3年10月から全面運用しています。避難体制の構

築では、災害対策基本法で示された条件に適合した指定緊急避難場所と指定一般避難所を選定しています。ほかに、ため池、土砂災害、内水、洪水のハザードマップを作成し、対象となる地域に配布するとともに、当市の防災ハンドブックを全戸配布しています。国県では大雨特別警報の発令基準の見直しや線状降水帯の予測を開始しています。民間企業でも、予報技術の発達に伴う詳細な降雨予想など、官民挙げて防災力強化が図られています。今後、災害に強いまちづくりに努めます。

コロナ退散・防災対策





福祉施設等へ手厚い対応を。 県立松代病院について

富井 春美 議員



質問 コロナ感染症第7波で妻有地域福祉緊急事態宣言が発令されました。

①福祉従事者等への定期的な検査の実施②自宅へ帰れない職員の公的支援③陽性入所者の入院受入体制作り④福祉施設の実態把握などは、どのように行われているのか伺います。

答弁 ①県から障がい者施設、介護施設のうち、入所施設については抗原検査キットを一斉配布しています。②十日町市医療・介護従事者等の宿泊費助成事業として医療・介護従事者が同居する家族への感染の危険を回避するため、市内宿泊施設1泊当たり3000円の助成を行い、昨年は3か所の介護施設で22名の介護従事者が利用し、117万円の助成を行いました。③県で必要な入院を適切な基準により受け入れる努力が行われています。感染状況や病状の変化があれば、それに応じた対策を取っていく必要があると感じます。④福祉、介護事業者を対象とした福祉介護連絡調整オンライン会議を毎月1回以上実施しています。

質問 県立松代病院は地域包括ケア病棟を中心とした回復期の病院になります。回復期の病院の内容と今までの救急告示病院や訪問診療・看護などはどのようになるか伺います。

のようになるか伺います。

答弁 地域ケア病棟では、急性期の治療終了後に安心して在宅や高齢者施設に復帰して自分らしい生活を行うために疾病の治療やリハビリテーションを行うほか、退院後の生活に合わせて施設の紹介や訪問看護など、在宅での介護サービスの紹介を行います。急性期病棟が地域包括ケア病棟に転換された後も、外来診療や診察時間は変わらず、救急車の受け入れなどの救急対応も救急告示病院のままであり、訪問看護・訪問診療とともに、これまでと同様に対応することを確認しています。



県立松代病院



指定管理施設持続化事業・UPZ事前了解権締結について

滝沢 貞親 議員



質問 新型コロナウイルス対策として、一昨年から支給された「指定管理施設管理維持体制持続化事業支援金」が、今年度支給されていない。コロナ禍は未だ続いているが、なぜ支給されないのか。審議経過などその詳細を伺う。

答弁 この支援金は、当市の公の施設を管理する指定管理者に対し、令和2から3年度の2カ年度にわたり、コロナ臨時交付金を財源として交付したものです。支援の目的は、指定管理施設の感染防止対策費用を緊急支援することにより、施設の安全安心な管理運営を継続させることにあります。今年度については、令和2年度などの感染流行時点に比べ、マスクや消毒液等の衛生物品の価格上昇や品薄の状況下になり、通常に施設運営がされていることなども踏まえ、通年予算内での対応が可能と判断したものです。こうした支援金は臨時的なものであり、恒久化するべきものではなく、その時点の状況を鑑みながら、受益者負担も併せ、対応を講じていくべきものと考えています。

質問 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する「事前了解権」を有した、新安全協定締結が、UPZ議員研究会か

ら8月23日、市長に対して要請された。この要請に対する市長としての見解を伺う。

答弁 私としては柏崎市と刈羽村以外の自治体の意向は県が確認を行い、代表して判断するべきであると考えています。当市としての意向は、市民の皆さまのご意見を確認し、取りまとめた上で私が知事へしっかりと伝えたいと考えています。



柏崎刈羽原子力発電所30km圏内(UPZ)議員研究会
冊子「30km圏内の7つの自治体にも再稼働の事前了解権を!」より引用



1億円産地化は農業を基幹産業にできるのか？

小嶋 武夫 議員



質問 補助金が目当ての農業では、十日町の農業が立ち直るわけがない。農家が作物栽培に専念できる政策を打ってもらいたい、いかがか。

答弁 市では、市単複合営農促進事業により、認定農業者等に機械整備助成を行っており、令和3年度からは補助対象となる機械を拡大するなど、生産者を支援しています。また、県とJA十日町は、十日町市全体の園芸産地強化策として、ネギをはじめとする園芸作物の集出荷施設を吉田地域に今年度新たに整備し、出荷販売体制の強化を図っています。このほかソフト事業として、かぼちゃ塾やねぎ塾等を開催し、生産者からの要望把握を随時行っています。引き続き市では、県の普及センターやJA十日町と連携し、生産者の声を丁寧に聞き取りながら、園芸作物の1億円産地化を推進していきます。

質問 農産物には販路が一番大事である。販路のないものは、せっかく作っても産業廃棄物になってしまう。評価の高い十日町流の除雪体制を作ったように、農業でも十日町独自の販売政策を考えてもらいたい、いかがか。

答弁 すでに直接群馬県まで行つて販売している方やネット販売している方、



質問 物価高騰で農業経営は厳しい。国の対策では値上がり分の7割助成というが、①内容はどのようなものか。②県、市の上乗せはあるのか。③これらの制度をどのように周知するのか。

答弁 ①本年の秋肥と来年の春肥として、令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料を対象に、令和4年の肥料費と、国から発表される価格上昇率等を基に算出される令和3年との肥料費の差額の7割が支援金で交付されます。②市独自の支援策として、原油価格物価高騰の影響を受ける水稲、園芸、畜産、キノコ事業者に対し、生産などに関わる費用の一部を支援します。③多くの農業者から活用いただけるよう、JA十日町や肥料販売業者と連携し、広く周知します。

質問 平成27年以前の農業委員会委員の選任は選挙制度であったが今は市長選任制となっている。委員会の独立性はどの様に担保されているのか。

答弁 地域の農業者から選ばれた各委員が農地の権利移動を許可する仕組みは、農業者の自治を体现しています。農業委員会法改正では、委員の公選制廃止や建議の法定業務からの除外など、制度見直しがありました。現在でも



農家の経営危機の認識と子どもたちの就学選択肢について

滝沢 繁 議員



農地の利用集積、遊休化農地の抑止などにも大きな役割を果たしており、戦後農政の基本的枠組みと変わっていないと考えています。

質問 松高は小規模だが果たす役割は大きい。募集停止が迫るが地元は諦めない。存続の願いに対し市長の意見は。

答弁 松の山分校は市内外からの入学もあり、高等教育機関として一定の役割を果たしているものと思っています。地域の子どもたちが学校の選択に不安を抱かないような計画案としていただくよう、10月の最終決定まで知事・県教育長に訴え続けます。

●農水省が示した肥料価格高騰対策

- ・ 肥料購入費の負担増分を補助
- ・ 化学肥料から有機質肥料へ転換経費補助
- ・ 貫行の施肥体系から堆肥活用肥料コスト低減へ転換を推進するための補助
- ・ 地力増進作物を作付けする農業者支援
- ・ 土壌診断に基づく化学肥料の削減に資する高速土壌養分自動分析装置の整備等の補助

滝沢繁議員作成



日本遺産更新保留の原因を質し、縄文の謎解明などを提案

吉村 重敏 議員



質問

①日本遺産の更新保留と再審査の原因は何か。現況と今後の方向性を伺う。②大地の芸術祭作家と学芸員の懇談会で縄文の謎解明に挑戦しないか。③アイヌ文化を研究しないか。④縄文土器の芸術性を発見した岡本太郎と「芸術新潮」で新国宝に笹山遺跡の火焰型土器を推薦した梅原猛、二人の国宝指定に果たした功績は格別で十日町市と市民は計り知れない名誉と利益を被っている。ご恩に報いるため二人に名誉市民称号を贈呈してはいいかがか。

としてはありません。地名や土地の成り立ち等は、少しずつですが文献等で確認できているところですが、今後いろいろな角度から勉強していく必要があると思いますし、全国的な課題だと思いますので、各地の機関と連携していくことが大事だと考えています。④お二人が国宝指定に大きな影響を与えていただいたことは間違いないと思います。市民の中からそうした声が大きく沸き上がるような動きが出てきた場合には、十日町市名誉市民条例に基づいて検討する必要があると思います。

答弁

①観光、産業に結びつく取り組みが弱いことや受け入れ環境の充実などの課題が指摘されています。現在、推進体制の整備などを含め、新たな地域活性化計画を文化庁へ提出し、年内をめどに再審査結果が発表される予定です。②今年の大地の芸術祭では、火焰型土器をモチーフにした作品が展開されています。作家の皆さまは縄文についての知見を深めた上で作品制作を形にされていると推測しています。今後また縄文をモチーフとした作品が計画された際には、作家と学芸員との懇談会の働きかけをしていきたいと思っています。③アイヌ文化とこの地域に残っている文化の関連性は今のところ成果



除雪要員の確保とコロナ感染の情報共有について

嶋村 真友子 議員



質問

除雪要員の確保について①十日町市の施策は。②雪まつりを復活しその中で十日町市の除雪技術を見せられるような場ができないか。

答弁

①平成25年度に創設した除雪基本料金支払制度により、除雪業者の人員確保や降雪シーズン前に行う除雪機械整備などの経費として平年除雪費の7割を前払いし、安定的な除雪体制の維持のため、積極的な対策として講じています。また地域産業を担う人材を確保するためのキャリア教育を今年度は松代高校と松之山分校で実施し、除雪に関わる仕事の魅力を発信しました。②自慢できる技術であるので、雪に対する技術の進歩という観点から大いに発信すれば見せ場にもなりやすいと感じました。こうしたことも含め、新しい雪まつりを市民の皆さまとともに作り上げていきたいと思っています。

①本人や家族に風邪のような症状がある場合についての相談が多く、次いで濃厚接触者やPCR検査に関することなどとなっています。また、保育施設及び市立学校については、主なものとして保護者が勤務先に提出する休校や休園などに関する証明について問い合わせとなっています。②教員や保育園の職員からもコロナ感染というものがどういうものなのか子どもたちにも伝えていると思っています。伝え方の問題もあるかと思いますが、現場の声を聞きながら対応していかなければなりませんし、市民全体でも認識しながら、対応していく必要があると思っています。

質問

コロナ感染の情報共有について、①どのような相談が多いのか。②質問相談コーナーのようなものを作って配布できないか。



市民生活になくてはならない道路除雪



第二次学区再編・少子化を活かす学校作りと地域活性化を

鈴木和雄 議員



質問 中学校の学区再編方針を見直し新たに「中学校のあり方検討会」を設置するとしているが、文科省の「少子化に対応した活力ある学校づくり」の手引きや中央教育審議会での「学校と地域の連携・協働のあり方」の提言をどう生かしていくのか。

答弁 地域と学校が一体となった活動が健全な子どもたちの育成に大事だということを認識した上で進めていきたいと思っています。また学区再編にとってもこの視点は大変重要だと思っています。大事なのは、学校は子どもたちの学びの場として体力、知力、そして人間力を育成する場ですので、子どもたちが社会のどこに出て行っても十分通用する人材の育成を一番の視点において、今後の再編計画を進めていきたいと思っています。

質問 「中学校の通学区域は旧町村を超えない範囲」は大事な視点。少子化に対応する学校づくりと地域活性化は、当市の将来がかかった大事業。あらゆる努力を傾けていただきたい。

答弁 合併旧町村を越える、越えないというのは大事な視点かもしれませんが、逆にそうしたものを全部なくするようなことも考えるというんな議論が可能だ

IV 十日町市における望ましい学校の規模 (略)

1 学校の規模 (略)

2 学校の通学区域

(1) 小学校 (略)

(2) 中学校

十日町地域が6通学区(6中学校区)、川西、中里、松代、松之山の4地域がそれぞれ1通学区(4中学校区)と旧町村ごとに区域を定めています。地域コミュニティの枠組みである地域協議会や公民館の設置区域にはほぼ一致しており、旧市町村の境界を越えない現行の、10の中学校区が適当であると考えます

出典：十日町市における望ましい小・中学校のあり方に関する方針
平成22年2月

と考えていますし、今度新しくできる検討会には期待していきたいと思っています。十日町の中学校が今後どういうふうになったら生徒が一番幸せなのか、地域がどう関わっていくのかというようなことも含めて議論いただきたいと思っています。いろいろな前提を取り払った自由な議論が沸き起こってくるようなきっかけになれば、今回の教育委員会における方針の大きな変更も行った価値があると感じております。



小学校の統廃合や子どもの学力、外国人の移住等について

山家悠平 議員



質問 川西地域の小学校の統合について伺う。

答弁 第2次学区適正化方針における再編計画では橘小を上野小に統合する案となっていますが、昨年度実施した保護者アンケートにおいて、橘小・上野小・千手小の3校での再編を望む回答も相当数ありました。今後地域や保護者が3校による再編に前向きな情勢になれば検討も必要と考えています。

質問 英語を中心に中学生の標準学力検査の成績が低下しているが対策は。

答弁 教育センターを中心に教員の指導力向上を目的に授業公開や研修を計画的に実施する予定です。さらに、外国人ALTによる授業支援を行いネイティブな英語に触れる機会を提供し、生徒の英語力向上に努めてまいります。

質問 外国人の当市への移住について支援体制は。

答弁 今年度は国の移住支援金制度を活用して2人の外国人の支援を行っています。補助金対象となるには、市に5年以上定住することを要件としています。が、国籍は要件にないため、該当する場合は、活用していただきたいです。相談体制については、日本語が話せない方でも市の国際交流員が対応で

きます。移住コンシェルジュにおいても日常会話程度の相談は可能です。

質問 当市の小中学校の外国人の子どもの受け入れ体制は。

答弁 日本語が不得手な児童生徒については日本語指導員として教育センター職員が定期的に指導するほか、学校の級外教員も週に数回は日本語を指導しています。保護者も日本語が不得手な場合があるため、定期的に保護者と面談しながら学校生活の様子などを伝え、協力しながら児童生徒並びに保護者の支援を行っています。



市立橘小学校

9月定例会

● 議会をPick-Up!

令和4年第3回定例会
会期 9月7日～26日（20日間）
審議の結果は、10ページ下段から11ページに掲載

9月の定例会は、市長提出議案39件、請願1件、議会提出議案4件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第6号〕

（主な事業および内容）

- 指定管理施設燃料費等
高騰支援事業
電気料や燃料費高騰の影響を踏まえ、指定管理者の負担を軽減するため、支援金を給付します。
- 集会施設等環境整備支援事業
集会施設等の節電などに係る機器の入れ替え経費を補助します。
- 定期・任意予防接種事業
子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を再開し、公平な接種機会を確保します。また、積極的勧奨の差し控えにより公費で接種する機会を逃し、定期接種の対象年齢を過ぎて自費で接種した方に、任意接種費用を助成します。



● 幼児健康診査事業

弱視の早期発見・治療に向け、3歳6カ月児健康診査に屈折検査機器を導入します。



● 物価高騰臨時対策商品券発行事業

市内経済活動の維持や年末年始の市民の消費活動支援を目的に、プレミアム率25%の商品券を2万冊発行します。

● 学区適正化検討事業

学区適正化の検討を進めるため、検討組織を立ち上げます。



Pick-Up 02

条例の制定

（主な内容）

- 藤倉ハウス条例の制定
雪里留学学生寮として改修していた布川地区交流体験施設（藤倉ハウス）が9月に竣工し、11月から留学生の受け入れを開始することから、新しい条例を制定します。
- 雪里留学・松之山小学校通学区以外に在住する小学生、中学生がまつのやま学園に就学すること。

Pick-Up 03

契約の締結

● 物品購入

老朽化に伴い、本庁にロータリ除雪車3台、松代支所にロータリ除雪車1台、小型除雪車1台を購入します。



道路確保に活躍する除雪車

Pick-Up 04

意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。
内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

- 雇用対策の充実強化と物価高騰対策の強化を求める意見書
- 30人以下学級実現に係る意見書



賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき						伸 しん 暢 ちよう				令和の風			日本共産党 十日町市議団			新 しん 成 せい 会 かい			無会派				議長
				村山達也	富井高志	水落静子	中林寛暁	山家悠平	遠田延雄	高橋俊一	鈴木祐一	関口立之	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	宮沢幸子	小嶋武夫	小林正夫	大嶋由紀子	滝沢貞親	嶋村真友子	
94	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	
101	認 定	18	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	－	※
102	認 定	18	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	－	※
105	認 定	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－	※
106	認 定	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－	※
議発6	否 決	5	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	－	※

9月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提案	75 専決処分の承認（令和4年度十日町市一般会計補正予算（第5号））	—	全員賛成	承認
	76 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	77 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	78 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	79 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	80 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	81 十日町市企業設置奨励条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	82 十日町市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	83 十日町市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	84 十日町市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	85 公益的法人等への十日町市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	86 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	87 十日町市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	88 十日町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	89 十日町市藤倉ハウス条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	90 十日町市越後妻有犬蔵寺高原観光施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	91 指定管理者の指定の期間の変更（十日町市農産物加工直食施設）	産業建設	全員賛成	原案可決
	92 十日町市清掃施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	93 十日町市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	94 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	賛成多数	原案可決
	95 令和4年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	96 令和4年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	97 令和4年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	98 令和4年度十日町市水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	99 令和4年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	100 令和4年度十日町市下水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	101 令和3年度十日町市一般会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	102 令和3年度十日町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	103 令和3年度十日町市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	104 令和3年度十日町市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	105 令和3年度十日町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	106 令和3年度十日町市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	107 令和3年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	108 令和3年度十日町市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	109 令和3年度十日町市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	110 令和3年度十日町市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	111 固定資産評価員の選任	—	全員賛成	同意
	112 損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
	113 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第7号）	—	全員賛成	原案可決
請願	4 30人以下学級実現に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	全員賛成	採 択
議会提出議案	5 雇用対策の充実強化と物価高騰対策の強化を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	6 安倍元首相「国葬」実施の再考を求める意見書	—	賛成少数	否 決
	7 30人以下学級実現に係る意見書	—	全員賛成	原案可決
	8 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

伸 暢



文化」を地域観光の要とすべき方策はないかと耳目を尽くしてきたが、地域からの文化発信がいかに難しいかを痛感した。

さらに香川県の、7頭のイルカを飼育している「日本ドルフィンセンター」へ行った。ここでは3日間を目途に、発達障害や脳性麻痺、精神疾患などの方たちへのイルカを通したセラピーのプログラムを組んでいることが特徴である。20年近くもの間、自主運営を貫き通している姿に感銘を受けながらも、事業所と自治体とが連携することの難しさを感じた。

これまでの全国的な新型コロナウイルス感染拡大のため、管内視察や講演会開催等、地元での活動だけだったが、今年度は、阪神淡路大震災から27年を過ぎた地域の文化発信を確認するため、9月定例会直後に淡路島方面に赴いた。弥生時代の松帆銅鐸などの説明を聞き、さらに五斗長垣内(ごっさかいと)遺跡、北淡震災記念公園野島断層保存館、伊弉諾(いざなぎ)神宮などを視察してきた。当市においても、地震や雪害・水害等を経た現在、日本遺産となった「究極の雪国」と「火焰型土器と雪国の



令和の風



コロナ対策に留意し管外視察を行いました。初めに、小水力発電事業の取り組みを学ぶため、岐阜県郡上市を訪ねました。市営発電所が4つあり、最大年間発電量259・6kW、施設利用率65・6%、施設整備は市の負担が少ない事業を活用し、

北陸電力(株)または中部電力(株)にすべて売電し約5千万円の収入があります。修繕や管理を地元が担い、年間200万円程度を地元で還元しています。十日町市の小水力発電事業は、国や県と共に取り組む事が必要だと感じました。そして机上の理論値

※政務活動費を申請した会派は、議会だより74号をご覧ください。

みんなの笑顔



みんなの笑顔(大嶋由紀子)は、笑顔あふれる町づくりを目標に市民の皆さまの思いに寄り添い、現場を拝見し、お話しを伺う活動を心がけ出向く活動をしています。お気軽にご連絡いただけると幸いです。保育で有名な白梅学園大学庭野准教授から「保育士の離職と保育現場の課題」をテーマに研修を受けてまいりました。核家族化、共働き、保育園無くて子育ては出来ない社会です。また、小学校入学前は保育園等に通う子どもが

ほとんどという状況で、保育園は社会にとって必要不可欠な存在です。多様な働き方、多様性と言われる時代の中で、保育現場から多くの課題やご相談を伺っています。保育士不足も大きな悩みとなつていきます。研修で学んだことを行政と共有し、未来を担う子どもへの育ちの支援をさらに強化できるように連携して参ります。2枚目の写真は、障がい者アートの祭典で地域の笑顔を増やしたい「うおぬまアール・ブリュット芸術祭」のメンバーとの写真です。共生社会の実現を目指し、人にやさしい町づくりを皆さんと共に活動しています。



12月20日～24日 段十ろうにて開催

議会レポート

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、小中学校のGIGAスクールの取り組み状況と、本市の文化財について視察を行いました。

千手小学校では、図工、社会、国語、道徳の各授業を、川西中学校では、美術、国語、英語の授業を視察しました。中学校では、その場でインターネット検索しながら情報整理を行うなど、両校における各学年での学習状況に合わせた活用状況について、小中学校全学年での取り組みを見ることができた非常に貴重な機会となりました。

視察後の意見交換では、教育委員会としては、全国学力テストのオンライン化に向けた動きに合わせ、先進校の取り組みを全市に広めたいと考えていることが示されました。

続いて、博物館において、十日町市の文化財について視察を行いました。

本市には、縄文時代から脈々と続く固有の歴史や文化があることから、国宝を初めてとして現在174件の指定・登録文化財があります。博物館では、これらの文化財の総合的な保存と活用を図り、市民の地域文化への理解・郷土意識を高めるとともに文化観光を推進し、地域活性化に結び付けるため、「文化財保存活用地域計画」の策定に取り組んでいることが示されました。



石原博物館長による説明



川西中学校3年生の授業風景

厚生常任委員会

6月29日に津南町を含む管内視察を行いました。

始めに、津南町の就労継続支援A型事業所「サンファーム」に伺いました。作業所では、通所者がシイタケの菌床作りや収穫、規格ごとの選別とパック詰めを行っているところを視察し、毎日のシイタケの生産量が一定せず、作業が安定しないことなどの説明がありました。サンファームは農福連携にも取り組んでいます。次に、津南町の就労継続支援B型事業所「すみれ工房」に伺いました。規格外となったユリの花を活用した「テーブルリリー」の製作を行っている事業所です。ユリの花と草花を花束にし、小容器に入れるという、とても繊細な作業を行っていました。手作業のため、作成できる数量が限られていることなどの説明がありました。

最後に、市内の放課後シュレ「てくてく」に伺いました。土市のかき医院ちくたくホール内に開設された、不登校やいじめ、引きこもりや発達障害など、多くの悩みを持った子どもたちが通ってくる施設です。悩みのある子どもたちが増え続けていることや、子どもたちの現状、シュレでの課題などについての説明がありました。対応しているスタッフの一生懸命さに、頭が下がる思いでした。



放課後シュレ「てくてく」



「テーブルリリー」制作の様子

議会改革特別委員会

9月定例会において、これまでの活動についての報告が行われました。今回はその要旨を掲載します。

■第2回委員会（7月20日）

2月24日の委員会以降、3回開催した協議会での協議内容や委員会開催に至るまでの経緯のほか、本特別委員会では順次整理できたものから検討を進めていくことを報告した後今後の検討項目について協議を行い、議会資料のペーパーレス化やオンライン会議、議員定数について、今後、議論を行っていくことを決定しました。さらに、議員倫理や今後の取り組みについても協議し、議員倫理については、次回の委員会で改めて議題とすることに決定し、今後の取り組みとして、ICT化に関する先進地視察を実施することを確認しました。

■第3回委員会（8月18日）

第2回委員会において検討を行うことを確認した、議会資料のペーパーレス化及びオンライン会議について、ゼロカーボンシティを表明する市の議会として、

て、SDGsの理念に沿った取り組みの必要性や、ペーパーレス化に向けた基本方針の必要性について議論を行っていくことや、オンライン会議については、非常時における会議の開催のあり方や、オンライン会議を実施する場合の環境整備について議論を行っていくことを確認しました。

また、議員定数については、持続可能な自治体運営や、委員会の調査・審査機能に配慮しながら、「一定の論理性を持った適切な議員定数」について、調査、協議を重ねていく方向性を確認し、その検討に用いる資料として、人口、基準財政需要額及び面積をもとにした資料を用いて、具体的に検討を進めることとしました。

議員倫理では、議員の品位の保持について、法令等の規定だけでは対応できないものがあるか否かについて協議し、協議の中では、現行の規定で対応できるとの意見があった一方、ソーシャルメディア利用時の基準等について検討を行うべきといった意見が出され、改めて議員倫理について解決すべき課題を各委員において抽出し、次回協議することを確認しました。

表紙写真について

今号の表紙は十日町高校松之山分校生徒会の作品です。

松之山分校生徒会

十日町高等学校松之山分校は全校生徒が65名、大変小規模の学校です。人数は少ないですが「日本一の分校」を掲げて日々穏やかに過ごしています。これから降雪の季節となりますが、一晩で変わる景色も写真におさめてみたいと思っています。



ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで本会議の様子を配信しています!



本会議の模様を生中継・録画中継しています。ホームページからアクセスしてください。スマートフォン、タブレットでも!



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、十日町市議会のホームページをご覧ください



あとがき

9月定例会は、通称9月議会、決算議会ともいわれます。議会として議員として、市民の皆さまの声を届けている年4回発行の議会だよりは、1か月ほど遅れての配布となります。

常任委員会、会派としての活動、議員の一般質問を写真と共に掲載し、二次元コードでの検索もできます。今回の討論におきましても同様です。今号は、十日町高校松之山分校生徒会の皆さまに表紙写真を依頼しました。各高校写真部へ依頼し、提供いただく写真はどれも素晴らしい。いつも選ぶのに難航します。いろんな角度からの写真を楽しみにしています。

(水落静子)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999